なんぷう

2008年 1月31日
第 9 号

県立日南病院の子年生まれの方々です。今年も頑張ります。

目　　次

■ 年頭所感「信頼関係の回復」 …… 1
■ 糖尿病について …… 3
■ 看護部トピックス …… 4
■ 医療連携コーナー …… 5
■ 栄養管理科紹介 …… 6
■ ためになる話 …… 7
■ みなさんのご意見コーナー …… 8
■ 県立日南病院祭・クリスマスコンサート …… 9
■ 外来診療日程表(週間) ……10
■ 県立日南病院こどもスケッチ大会優秀作品……11

日本医療機能評価機構(一般B)認定病院
県立日南病院
〒887-0013　宮崎県日南市木山1丁目9番5号

TEL 0987－23－3111
FAX 0987－23－5142
http://www.pref-hp.nichinan.miyazaki.jp/
Eメール:nichinan-hp@pref.miyazaki.lg.jp

年頭所感「信頼関係の回復」

院　長
脇　坂　信一郎

明けましておめでとう御座います。皆さまお揃いで良き新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は中期経営計画および当院独自のアクションプランが本格的に動き出した年でした。平成 18年度は形成外科の併設と様々な経費節減の努力が実り、医業収益は伸び悩んだものの、中期経営計画の年度目標値をクリアー出来る経営改善を達成致しました。平成 19年度も年度目標値をクリアー出来るかどうか、まさに正念場の年となったのですが、年度初めに循環器内科医２名を新たに派遣していただき、４名態勢で念願の循環器科を新設することが出来ました。また年末には膠原病・感染症専門内科医を１名増員していただくことも出来ました。医業収益を上げる最も有効な手段は、出来るだけ多くの良質な医師を確保することですが、これらの医師増員と、やむなく欠員を生じた診療科の頑張りもあって、平成 19年度の決算見込みでは、単年度収支額ではわずかに届きませんが、入院収益額、入院患者数、入院単価、病床稼働率ともに、中期経営計画やアクションプランの年度目標値をほぼ達成出来る見込みです。

一方、長時間連続勤務などの過酷な労働環境と、患者さんやご家族の方の過剰な期待に疲れ果てた勤務医が、一人去り、二人去りと次々に病院を辞めてゆく「立ち去り現象」が全国的に拡がっています。当院もその例外ではなく、昨年も数名の常勤医が辞めてゆきましたが、多くの場合大学医局からは後任の補充はありません。医師の獲得に努力する一方で常勤医が次々に辞職してゆくのでは元も子もありません。欠員を生じた診療科に残された医師は更に労働環境が悪化しており、更に辞職者が増え続ければこの病院が立ちゆかなくなってしまいます。当院の理念の一つに「患者本位の病院」を掲げ、患者さんの満足度を高める努力をしていますが、同時に当院の職員（医師に限らず）が当院で働くことに喜びと生き甲斐を感じられるように、職員の満足度も高める必要があることも何卒ご理解頂きたいものと思います。

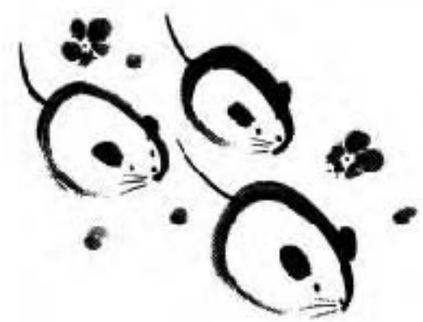
しかしながら、職員が人間らしい生活を送れるような勤務状態にすれば、現在の人的資源を考慮すると当然診療内容はかなり縮小せざるを得なくなります。しかしこれは当院が公的中核病院として「地域社会に貢献する病院」を目指す理念と相反することにもなりかねません。医師に限らず医療者は、本来その職業を選んだ時点から「患者さんの役に立ちたい」、「地域の医療に貢献したい」という気持ちと使命感を持っているものです。そして患者さんやご家族の方から自分が認められている、信頼されているということが感じられれば、たとえ業務がきつくても頑張る意欲が湧いてくるものなのです。

最近は少し是正されてきているようですが、これまでマスコミは独善的に医療者を攻撃し、医療不信の風潮を煽って来ました。もちろん世の中に糾弾に値する医療者がいることは否定しませんが、報道の中には見当外れのものも多いようです。当院に寄せられるクレームの投書の中には圧倒的に職員の接遇に関するものが多く、特定の職種・職員にそれが集中する傾向も把握しています。しかしそれらの職員が置かれている勤務状態や周囲の状況、前後の状況を客観的に考慮すると、あながち非難出来るものばかりではないようにも思えます。医療を受ける側に医療に対する不信が先入観としてあり、医療を行う側にも患者さんやご家族の置かれた情況に対する理解や配慮が足りないと、それぞれが正しいと思う論理の食い違いもあって、最初からお互いが対立的な関係となってしまい、これは両者にとって非常に不幸なことです。

言うまでもありませんが、医療は一方的なサービス提供ではなく、患者さん・ご家族と医療者とのお互いの信頼関係があってこそ成り立つ共同作業です。現在進行している日本の医療崩壊、医療荒廃を救い、県立日南病院がこれからも地域の公的中核病院として、地域に高度で先進的な医療、安心安全の医療を提供できる高機能病院として生き残れるようにするには、お互いの信頼関係の回復が絶対的に必要です。そしてお互いに鬱積した不満や不信感を払拭するには、お互いの立場や情況をよく知り、理解し合い、譲歩し合うことが必要です。

私が当院に赴任してきたとき、職員に申し上げた言葉に「患者さんの立場に立って」というのがありました。医療者はよく「患者さんのために」という言葉を使いますが、それはあくまでも医療者の立場から患者さんのためにと思っているのです。実際に患者さんの立場に立てば、また違ったものが見えてくるという趣旨でした。先述の接遇の問題もここから解決の糸口が見つかるのではないでしょうか。職員は、患者さんの立場に立てば、自分の言動や態度がどのように捉えられるのかということを意識してみて下さい。また自分が正しいと思う科学的論理が、患者さんの立場に立てば必ずしもその情況に妥当でないこともあり得るということも念頭に置いてみて下さい。一方、患者さんやご家族の方々も、医療は本来不確実なものであり限界があること、治るのが必ずしも当たり前でないこと、ミスでなくともある程度の確率で合併症が起こり得ること、医療者が過酷な労働環境で働いていること、テレビドラマの中の医療者のような優雅な生活ではないことを是非知っていただきたいと思います。

平成 20年　元旦



糖尿病について

内科副医長
村山　真也

糖尿病という病気を聞いたことがない方はいないのではないかと思います。
テレビの健康番組や健康雑誌などでも毎日のように糖尿病のことが紹介され、三大合併症（網膜症、腎症、神経障害）を起こすことや脳梗塞・心筋梗塞などの危険性を高めることが言われています。

糖尿病の患者さんの数は、少し古くなりますが、平成１４年の調査では「糖尿病が強く疑われる人」は７４０万人、「糖尿病の可能性を否定できない人」を合わせると１６２０万人との推定がされています。
しかし、その年に糖尿病の治療を受けている人は２２８万人、平成１７年でも２４７万人でした。

糖尿病が強く疑われる人の約三分の一しか糖尿病の治療を受けていないことになります。
これはどういうことでしょうか。

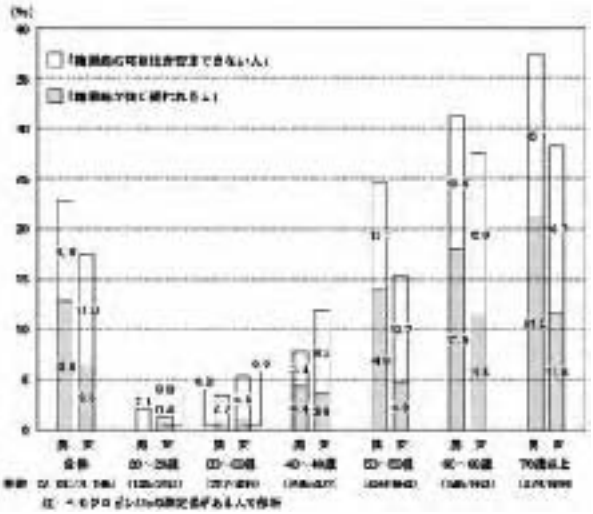
糖尿病とは、インスリンという血糖値を下げるホルモンが分泌されなくなったり、その働きが弱まったりしたときに起こる病気です。インスリンの働きが低下してしまった結果、常に血糖値が高い状態になってしまうわけです。
糖尿病のごく初期の患者さんは血糖値は高いのですが、普段の生活で気づく様な症状はあまりありません。
のどが渇きやすい・トイレが近い・食べても痩せるなどのよく言われる症状はある程度糖尿病が進行してしまい、常に高血糖状態となりおしっこの中にたくさんの糖が出ているために起こるものです。
つまり、糖尿病になりやすくなっている状態や糖尿病のごく初期の段階では本人の自覚症状はほとんど無いと言ってよく、検診を受けたり、他の病気で受診して偶然見つかるなどしない限りは糖尿病はそれとわからないまま静かに進行します。
このことが糖尿病の患者さんが治療を受けていない理由の一つです。

さらに前出の平成14年の調査では検診で「糖尿病が強く疑われる」と診断された方のうち４割ほどの人が治療を受けていません。
これも症状がほとんど無いこと、あるいは自覚症状があっても普段の生活に困るような症状がないため仕事を優先するなどして受診されないものと思われます。

糖尿病の治療法としては食事療法・運動療法・薬物療法があり、薬物療法には内服とインスリン注射の２種類があります。
糖尿病をなるべく早く見つければそれだけ合併症のリスクも低くなります。糖尿病は生活習慣病の一つですので、治療も食事療法と運動療法という生活習慣の見直しから始めることが出来ます。医療機関や保健所などで正しい糖尿病の知識を学ぶことも合併症を予防したり糖尿病の進行を防いだりするのに有効でしょう。

下図のように、糖尿病が強く疑われる人は男性で５０代から、女性で６０代から急増します。

これら年代の方、あるいはそれに近い方は生活習慣を振り返ってみてください。過食や運動不足、仕事のストレスなどの糖尿病になりやすい状態に思い当たるところがあれば一度検査をしてみてはいかがでしょうか。



（厚生労働省：平成14年度糖尿病実態調査より）

看護部トピックス
今回はＮＩＣＵです。

皆様　新年おめでとうございます。
新春第 1号は新しい年らしく「うぶ声」の可愛いＮＩＣＵ（新生児集中治療室）の紹介をします。

当院ＮＩＣＵは４東病棟に所属し、定床１０床でスタッフ９名が働いています。
ＮＩＣＵには早産・低出生体重児、感染症、呼吸管理が必要な児などが入院し、院外からの紹介が全体の３割を占めます。
特に、早産児は本来ならば暗く静かな母親の子宮内で、安全に守られて成長発達していく時期に出生するため、私たちが普段生活している環境がストレスとなります。そのためＮＩＣＵの看護は、ストレスを最小限に抑え一人ひとりの児の反応や発達レベルに合わせて環境を整えることが必要となってきます。
このようなことから、近年多くの施設で家族と共に児のストレスを緩和し正常な発達を促すディベロップメンタルケアの取り組みが見られます。当院でも理学療法士と共に正しい姿勢や安静を保持するためのポジショニング、児にあわせた光の調整、静かな音環境づくりを行っています。
このように、治療環境を整え、おあずかりした赤ちゃんが一日も早く家族のもとへ退院できるように、優しい看護を提供しています。
少子化のこの時代、一人ひとりの生命を大切にし、家族がわが子を安心していつくしみ育てられるように、今後もさらに家族の支援に目を向け入院早期より家族と共に育児環境が整えられるように援助していきたいと思います。

医療連携コーナー

「新しい医療計画が始まる平成20年」

来年度からメタボリックシンドロームを対象とする検診（俗にメタボ検診といったりしますね）が始まることをご存知の方も多いと思います。この検診システムがどうして来年度（平成20年度）から始まるのか、皆さんはご存知でしょうか。

新聞などで報道されている通り、高齢化がすすむことから医療費が年々増加しています。この医療費の増加を少しでも減らしたいという国の方針に基づき、昨年から今年にかけて、医療に関する様々な法律改正や計画立案がすすめられており、実はメタボリックシンドロームの検診もその改革の一環なのです。

国や都道府県がすすめている計画は「医療費適正化計画」「医療計画」「健康増進計画」「介護保険事業支援計画」にわかれており、いずれも平成20年度からスタートすることになっています。このなかの医療費適正化計画・健康増進計画では「糖尿病やメタボリックシンドロームの患者／予備群の人を5年間で約25%減らしましょう」という目標が掲げられています。この目標を達成するために、来年度から40歳以上の人を対象とする検診が始まることになります。その結果より、今は健康だけど生活習慣が不適切な人には啓発活動を、予備群の人には保健指導を、病気になっている人には病院受診するように、などのそれぞれに適切な働きかけがなされます。その結果該当する患者さんを減らしていきましょう、ということなのです。この考え方は、これまでの治療重視という考え方から、治療だけではなく発症防止にも力をいれる考え方へのシフトといえるでしょう。

医療費適正化計画のもうひとつの大きな柱は「地域医療連携の推進」です。病院・診療所など各々が適切な役割を発揮することで患者さんをきちんと支えていこう、というものです。この施策のなかでは、前回このコーナーで紹介した「地域医療連携クリティカルパス（連携パス）」が大きな役割を果たすものと期待されています。

宮崎県では今年度中に上記の具体的な計画をまとめるべく、準備をすすめているとのことです。県立日南病院も新しい医療計画のなかで、地域の医療機関・介護機関と手を携えて、地域における公立病院としてなにができるのか、どのような医療を提供できるのか、考えていくことになります。そして医療連携科は、院内外の多くの組織を結ぶ接点として、連携推進の核となるべき働きを行ないます。これらの取り組みをとおして、南那珂住民の皆さんにとってよりよい医療を提供していくことになります。

（医療連携科　木佐貫　篤）

栄養管理科紹介

皆様、こんにちは。日南病院の１階にある栄養管理科です。

私たち管理栄養士と調理師は、主に入院患者様の治療食づくりと栄養相談を担当させていただいています。

本日は、管理栄養士と患者様との関わりを紹介させていただきます。

まず、入院された患者様に適切な治療食を提供するために、医師、看護師等と協議し、栄養管理計画を作成します。そして実際の食事となって患者様にお届けするのですが、やはり個々人の病状による食欲不振などから「量が多すぎる」「吐き気がして食べれない」とさまざまなご意見があります。その場合は、患者様のご意見を聞き、栄養状態が低下しないための食事内容に変更いたします。

そして、安全でおいしい食事であることを目標にしています。

日南病院には「NST(栄養サポートチーム)」という組織があり、現在、各病棟で活動しています。NSTは、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、管理栄養士でチームを組んで低栄養状態の患者様を栄養管理し、改善していこうとするものです。患者様の病状改善には低栄養状態を良くすることが重要です。特に、手術前、手術後そして食欲不振による低体重など栄養療法が大切になってきます。また、高齢者の場合も栄養状態が良いと病状改善が早くなります。

写真は低栄養状態の患者様に対して、主治医を中心にNSTメンバーが一堂に集りどのような栄養療法が必要かを話し合っているところです。

次に、栄養相談を医師の指示のもとに管理栄養士が行っています。

病気の治癒に食事療法が必要な方は、入院、退院時、そして外来時に継続していただきたい食事内容をできるだけわかりやすく食品モデルなどを使ってご説明しています。食習慣を変えることは大変困難なことですが、食習慣から病状を悪化させることが多いので、食事療法の大切さを伝えていきたいと頑張っています！

ためになる話 NO7

著者:斉藤茂太“モタさんのクヨクヨ考え過ぎる人の心が楽になるヒント”より

言葉は諸刃の刃のことわざがあるように、言葉は元気をもらう時と、逆に一言で傷つく時があります。傷ついた言葉や相手は、いつまでも忘れることはできません。

江戸時代の儒学者・貝原益軒は、「人は陰徳を行なうべきである。陰徳とは思いやりの心を持ち善を行なって、しかもその善を人に知られまいとすることである」「人の善行や才能をほめてそれをいっそうすすめることである」と述べています。

今回は、著者斉藤茂太氏の「モタさんのクヨクヨ考え過ぎる人の心が楽になるヒント」より“ためになる話”をお届けします。

人の過ちをとがめない

悪口を言われて、気持がいいという人はいない。悪口を言われた側の立場になって考えてみれば、最大のダメージはプライドを傷つけられるということだろう。それよりもレベルが下だと思っている人から言われた悪口だとしたら、怒りの度合いはいっそう強いものになる。器の大きい人なら、そんなつまらない悪口など放っておけばいいと相手にしないかも知れないが、凡人にはなかなかそう簡単に割り切れない。中にはいつまでも根に持ち、相手にこっぴどい仕返しをしてやろうと考える人もいる。これは全く無駄な時間の費やし方に違いない。

貝原益軒は、人の過ちをとがめたり、人の悪いところを暴きたてないで本人を勇気づける言葉を与えよ、と言っているのではないか。人の過失や悪いところを暴き立てても自分に返ってくるものは不幸だけだ。

“悪口は自分に返ってくる”と知ろう

否定的な言葉を使わない

自分に協調性があるかないかを知るためには、普段の自分の言葉使いを振り返ってみるのも一法である。「しかし」「ですが」という言葉を会話の中で頻回に使っていないだろうか。自分の主張を貫こうとする態度が見られ、自己顕示欲が強く自己中心的な性格であることが多いと言われている。自分では気がつかないうちに相手に不愉快を与える言葉があることを知っておくのは大切なことである。

他人を責める前に自分を見つめる

「会社を辞めたいが口癖になっている人がいないだろうか」そうであるなら考え方を改めるべきだ。「転職癖」「退職癖」のある人が会社を辞めた理由を聞いてみると、傾向がある。

こういう人はたいてい「自分にあった仕事をさせてもらえなかったから」「自分を嫌がっている人がいたから」などと理由を挙げる。辞める理由はいつも「他人が悪い」と言う他罰傾向が強くあらわれている。

適度な甘さを忘れない

日本人は西洋人に比べて愛情表現が下手だと言われている。「黙っていても愛情は分かる」とか「うまく暮らしているから大丈夫」という人がいるけれど、愛情は頭で理解するものではない。ラットのオスとメスをわけ砂糖水と強い甘さのサッカリンを入れた水を与えたところオスは砂糖水を、メスはサッカリンを好むことが実験で分かった。メスはより甘いものを好むという象徴的な実験結果がでた。女性が甘いものを好むのは味覚の嗜好にとどまるものでなく、愛情に対しても甘さを好むらしい。だから世の男性は、この心を知って、女房にも時には新鮮な口説き文句を用いる必要がある。結婚何年目であっても夫婦には適当な甘さが必要なものである。釣った魚に餌はやらないなどと言っていると、夫は妻から見限られてしまうだろう。時には愛情を言葉や態度で示すことだ。

みなさんのご意見コーナー

当院では、患者さんのより良い医療環境づくりをめざして、患者さんやご家族などの来院者の方からご意見を伺い、その対応を公表しています。ご意見の対応に係る公表は、皆様方との信頼関係を築く上で、大変重要なことと考えていますが、個人を中傷するものや具体的な内容の記述がないものは回答できない場合もあります。

皆様の具体的で、建設的なご意見をお待ちしております。

みなさんのご意見への回答（平成１９年9月～１９年１１月分）

○洗濯機、乾燥機をテレビカードで使用できるのはいいのですが、カードの度数がどのくらい減るのかを表示して欲しいです。でないと、例えば、度数が少ないと、途中で度数が無くなって止まらないかとか、やっぱり、使用する前に表示されていると安心です。目安でもいいですので、どうかお願いします。

●テレビカード１枚で、量にもよりますが、おおむね６回は洗濯（乾燥）できます。スタートボタンを押した時点で洗濯に必要な度数が落とされてカードが出てきますので、基本的には途中で止まるようなことはありません。度数が足らなければその時点で「E99」というエラー表示がされ、カードが出てきます。

ただし、使用中に蓋を開けてしまうと洗濯機（乾燥機）が止まってしまい、再始動せずに時間だけが減っていきますので、ご注意ください。

使用中に他の方が誤って蓋を開けてしまわないよう、洗濯機の蓋に「使用中は絶対に開けないでください。途中で止まります。」という表示を致しました。

○廊下、待合室で電話をする人を、来るたびに見かけます。病院の機器、来院患者に重大な障害を及ぼすことがあるならば、電源停止、切りを徹底させてください。

○産婦人科トイレ入口で、若い女性が携帯電話を長くかけていた。トイレ入口でも精密な機器に悪影響があると思う。注意して欲しい。

●携帯電話はペースメーカーや電子医療機器等に悪影響を及ぼすことから、公衆電話コーナーや各病棟の面会ホールを除いて使用禁止とし、電源を切るようお願いしているところです。

今回、その旨を記載した注意書きを待合室やエントランスホール等の２０箇所以上に追加設置いたしました。

しかしながら、貼り紙だけではその効果に限界があり、禁止場所での使用も見受けられますので、見かけた病院スタッフが積極的に声かけするよう、注意喚起しているところです。

○部屋に少し座るところが欲しいです。

●個室でしたらご要望によりナースステーション等から椅子をお持ちしていますが、４人部屋では多数の椅子を置くスペースがございませんので、多人数でのお見舞い等には面会ホールや面談室のご利用をお願いいたします。

※ここでの掲載はいただいたご意見の一部です。

皆様からのご意見に対する回答は、院内掲示板または病院ホームページに掲載しています。

第９回県立日南病院祭

１２月２日（日）に第９回目となる県立日南病院祭が行われました。病院祭では「手術室ってどんなとこ？」や「ＡＥＤの基礎知識と使い方」など各部門から２５の催し物が出されたほか、宮大医学部展や救急車試乗体験コーナー、こどもスケッチ大会展などが行われました。また、アトラクションの部では、平野神社の獅子舞や沖縄エイサー、緩和ケアの講演などが行われました。

平野神社の獅子舞

沖縄エイサー

まつりえれこっちゃ宮崎

ＡＥＤの基礎知識と使い方

手術室ってどんなとこ？

妊婦体験・ＮＩＣＵ紹介

救急車試乗体験

血圧測定

宮大みこし「医獅奮迅」

クリスマスコンサート

１２月２５日（火）に当院の音楽部と有志の方が中心となり毎年開催しているクリスマスコンサートが行われました。クリスマスコンサートは今年で６回目となりますが、今年のコンサートには、院内から３グループが参加するとともに、日南学園高等学校の合唱部の生徒さん方にも参加をいただき、入院中の患者さんの心を和ませていただきました。

音楽部と有志の皆さん

４階西・５階西の皆さん

看護部合唱団の皆さん

日南学園高校合唱部の皆さん

外来診療日程表

県立日南病院　平成20年1月

2階

小児科	月	火	水	木	金
一診	石井	石井	石井	石井	石井
二診	木下	木下	木下	木下	木下
検診日		午後2時から			午後2時から

耳鼻咽頭科	月	火	水	木	金
診察	鍋倉	鍋倉	鍋倉	鍋倉	鍋倉
検査日		午後		午後	午後
手術日	○		第1・3・5午後		

眼科	月	火	水	木	金
一診	斉藤	斉藤	斉藤	斉藤	斉藤
二診	前久保	前久保	前久保	前久保	前久保
検査日		午後	午後		午後
手術日	午後			午後	

泌尿器科	月	火	水	木	金
一診	新川	新川	新川	新川	新川
二診	高森	高森	高森	高森	高森
検査日	○		○		
手術日		○			

皮膚科	月	火	水	木	金
一診	帖佐	帖佐	帖佐	※	帖佐
二診			☆		☆
手術日				○	

※予約再診のみ
☆宮崎大学医学部の医師による診察

産婦人科	月	火	水	木	金
一診	蓮田	蓮田	蓮田	蓮田	蓮田
二診	春山		春山		春山
手術日		○	○		○

＊初診は月・水・金曜日になります。　＊火木は予約再診のみ
＊思春期外来（金曜日15時より予約制）
＊女性外来「わかば」（第3金曜日　完全予約制）

1階

内科 循環器科	月	火	水	木	金
初診	矢野	田中(弦)	平塚	田中(充)	石崎
再診	中村	林 (午前)	田中(充) (午前)	矢野	中村
再診	平塚	平塚	石原	石原	石原
再診	林	石崎		石崎	矢野
再診	石崎	村山	ペースメーカー 外来(奇月) 中村・田中	HOT外来 (午後) 村山	平塚
内視鏡					押川
透析	石原	石原	石原	石原	石原
気管支鏡 (午前)		平塚 田中(弦)		平塚 田中(弦)	
心カテ 検査(午後)		矢野・田中 中村・林			矢野・田中 中村・林
心エコー		田中・矢野		林・中村	
急患(午後)	岩切	村山	中村	林	田中(弦)
シャント手術					石原
ペースメーカー手術			矢野・林		

放射線科	月	火	水	木	金
診察		山本		古賀	
検査日	○	○	○	○	○

外科	月	火	水	木	金
一診	市成		和田		市成
二診	峯	種子田	峯	種子田	峯
三診	米井				
手術日	○	○	○		○
透視				○	
内視鏡		○		○	

※外来手術（月曜日の午後）

脳神経外科	月	火	水	木	金
一診	脇坂	池田	池田	脇坂	脇坂
二診	米山	米山	米山		米山
手術日				○	

整形外科	月	火	水	木	金
一診	初診	川野	初診	松岡	初診
二診	松岡	上通	松岡	上通	川野
手術日	午後	午後	午後		午後

神経内科	月	火	水	木	金
診察			山下	塩見	

精神科 心療内科	現在休診中

編集後記

明けましておめでとうございます。今年の冬は比較的暖かい日々が多いように思われますが、皆さんいかがお過ごしですか。今年が宮崎県にとり飛躍の年となるよう祈りながら、「なんぷう」の編集に取り組んでいます。今年も病院のホットな話題を皆さんにお届けしていきたいと考えていますので、引き続き、ご愛読のほどよろしくお願いいたします。

（広報編集委員会）

第5回県立日南病院子供スケッチ大会

優秀作品

最優秀賞

高橋（たかはし） るる（るる）さん

優秀賞

谷（たに） 有紗（ありさ）さん

優秀賞

坂元（さかもと） 太一（たいち）さん

努力賞

瀬口（せぐち） 侑奈（ゆうな）さん

努力賞

上通（うえみち） 華（はな）さん

努力賞

時任（ときとう） 亜美（あみ）さん

※今回は平成１９年１０月１６日(火)に日南市立油津小学校２年生の皆さんに描いていただきました。